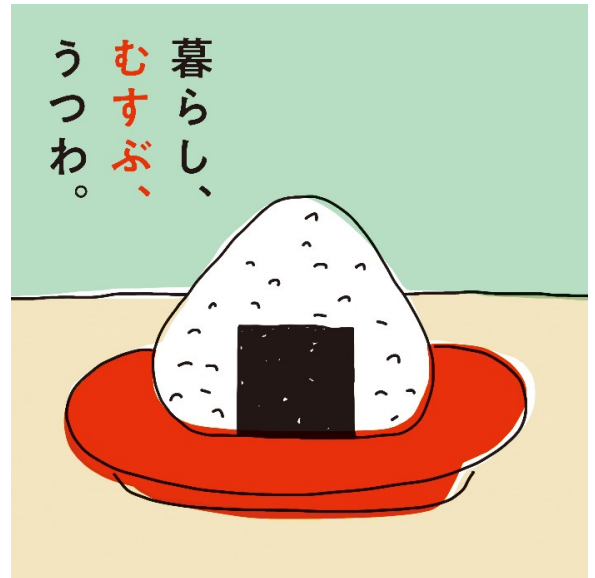


## ◎ 「暮らしの彩展『暮らし、むすぶ、うつわ。』をテーマに」

雑貨バイヤー 大澤 満美子

第九十四回「暮らしの彩展」が1月16日～17日に、名古屋ウインクあいち八階で開催されました。今まではバイヤーという視点で展示会をまわっていましたが、今回はディレクターという立場で全体構成に携わりました。

以前よりお世話になっている波佐見の西海陶器株式会社。インテリアショップのバイヤーとして勤務していたころから波佐見に通って早10年が経ちました。営業の方と一緒に、児玉社長（現会長の児玉盛介氏）に毎回食事に連れて行っていただき、同世代の友人のような感覚で話せることに驚きつつ楽しい会話が弾みました。



2018年1月の「暮らしの彩展」でお会いした時に、「これからは若い人たちが陶磁器業界を引っ張っていかなくちゃいけないから、息子（現児玉賢太郎氏）たちががんばらないといかん」といつもの笑顔でおっしゃっていました。伊賀の長谷園の長谷康弘社長とも同じく今後の陶磁器業界の話になり、「より盛り上がるには時代の波にもうまく乗っていかないとですね」と話しました。その後、2019年の「暮らしの彩展」はウインクあいちに戻ることもあり、装いあらたに変えていきたいと長谷園の長谷康弘社長よりお誘いをいただき、ディレクターとして考える、「バイヤーがわざわざ名古屋にまで見に行きたいと思うような展示会」を考えはじめました。

もともと器が大好きなので、洋食器・和食器・ヴィンテージ・作家の器など自宅にはたくさん持っています。バイヤーという職業だから、自分が使いたい器をショップに並べたい。価格が高くて安くても、私は料理を盛って使うことが一番大切と考えています。使ってみてその器に、さらなる愛着がうまれます。「暮らしの彩展」で大切なことは、やはり器と料理の組み合わせの楽しさを伝えることだと確信しました。

S/S/A/W というアトリエを東京の西小山に構えるたかはしよしこさん。日々刻々と変わる四季の素材を追いかけながら、メニューを組み立てシンプルに料理し味を迎えにいく。食卓が楽しくなる鮮やかな色彩と器のコラボレーションが得意の料理家です。今回はぜひ、たかはしさんへお願いしようと考えました。日本各地の産地で陶器・漆器・カトラリーをつくる10社からなる「暮らしの彩展」。であれば、各地の美味しい食材を使って、たかはしさんに彩り豊かな食卓を作ってもらおう。まずは、10社へアンケートを実施。美味しそうな食材がたくさん提案されました。その中から気になる食材（例えば、山中のまえじゅう漆器からは酒粕。土岐のイツミ陶器からは白川茶。多治見の山秀からは三千盛）をサンプルとして送っていただき、約2ヶ月間たかはしさんがメニューを考え下さいました。

### <うつわを楽しむ会メニュー>

白川茶のスパークリングティー  
季節野菜の土鍋蒸し + いろいろなディップ  
伊賀豚ベーコンと五郎島金時のスモークサラダ  
鱈の海藻蒸し  
加賀れんこんとエジプト塩のおむすび  
酒粕ミルクプリンと柚子葛ソース  
温かい白川茶

続いては、メインの器です！



美味しそうなメニューにあわせて、10社から彩り豊かな器を提案していただきました。スパークリングティーには、清峰堂のワイングラスを。一久からは、カラフルな取り皿。カネ三からは、開発中のオーバル皿。使いやすいつングは、燕振興工業。伊野正峰からは、かわいい箸置きなど。そして長谷園の IH 土鍋を使い、各テーブルで最後の仕上げをしていきます。湯気もふわふわと、美味しそうな香りが会場全体を包みます。レシピを含めてメニューの話をたかはしさんから、各社からは器やグラスやカトラリーの特徴などをバイヤーへご説明しました。今回は 10 社よりご招待したバイヤーのみの招待制でしたが、次回はフリーで楽しめるメニューにしても喜ばれそうです。

デザインやコピーライトは、アートディレクターの前田景さんをお願いしました。

暮らし、  
むすぶ、  
うつわ。

家族、むすぶ、うつわ。産地、むすぶ、うつわ。料理、むすぶ、カトラリー。バイヤー、むすぶ、うつわ。と、さまざまなモノやコトをむすびたい「暮らしの彩展」。むすぶといえば、おむすび！日本人は、おむすびが大好き。おむすびには、いろいろな思い出もあるよね。と描いて下さったイラストが、今回のデザインになりました。やさしくあたたかいイラストのできあがりです。実は、前田さんはたかはしよしこさんの旦那さま。やはり食べることは大好きだそう。

会場構成は、設計事務所 ima の小林恭・マナさんに。マリメッコやラプアンカンクリなどの人気店をはじめ、物販や飲食のインテリアデザインを手がけていらっしゃいます。場所やブランドを活かしたコンセプトづくり、使いやすさや機能性の向上の中にバランス感覚やユーモアを織り交ぜたデザインを得意としているおふたりです。

今までの展示風景をお見せした時の開口一番「ブースがかなり広くて普通の展示会の 2 倍以上ですね！なにより、並べてある商品数が多すぎる?!」でした。私もまったく同意見で、以前までの「暮らしの彩展」では通路幅が狭く、各社のブースがとても広い印象でした。商品もたくさん並び過ぎてしまっていて、カタログを見ると変わらなく感じていました。

会場入口は今までと変更し、奥へ大きなおむすびのバナーを作り、バイヤーをお迎えしました。入口を抜けると、各社のイチオシ商品を並べた展示台も設置。中央には、「うつわを楽しむ会」を開催するためのロングテーブルを。各社のブースの大きさは以前の 30%減になりましたが、その分各社は厳選して器を並べ展開しました。マスタードイエロー・ピンク・グリーン・グレーを





キーカラーに 10 社のバナーが並び、明るく見やすくスッキリとした印象になったと思います。10 社のバナーには、前田さんの遊び心あふれるイラストが加わり、まさに彩り豊かな「暮らしの彩展」となりました。



100 円ショップや格安ショップで買う世代や、インスタで見た人気のありそうな作家をよく分からないままフォローする世代、今までの考えのままではもう器は売れません。家族、むすぶ、うつわ。産地、むすぶ、うつわ。料理、むすぶ、カトラリー。むすぶことの楽しさを伝えながら、さまざまなモノやコトに関わるバイヤーでいたいと思います。

料理家:	たかはしよしこ	<a href="http://www.s-s-a-w.com">www.s-s-a-w.com</a>
デザイン+コピーライト:	前田景	<a href="http://www.maedakei.jp">www.maedakei.jp</a>
会場構成:	設計事務所 ima 小林恭・マナ	<a href="http://www.ima-ima.com">www.ima-ima.com</a>
ディレクター:	大澤満美子	

**雑貨バイヤー: 大澤満美子**

インテリアや食器など北欧デザインを盛り込んだライフスタイルブランド「collex」の立ち上げから MD 兼バイヤーを経て 2013 年からフリーランス。長崎県波佐見町には独立前から足を運んで窯元や作り手を訪れ、使い易い日常食器や手作業の美しさに惹かれていく。2015 年に、西の原にオープンした「GROCERY MORISUKE」を企画し食にまつわる雑貨のセレクトを行った。現在は、山形のセレクトショップ「GEA」や都内のセレクトショップなどでも、雑貨のバイイングを手掛ける。